

安全で安心な暮らしを守るあおもりの道づくり(防災・安全)

事業主体 青森県
計画期間 H26～H30

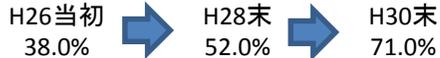
■計画の概要

計画の目標

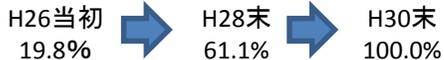
人も車も快適で安全・安心に歩ける(走れる)道を確保するため、歩行空間の確保、道路の沿線環境の改善を図り、施設の計画的な予防保全等を実施して、県民の暮らしを守る道づくりをめざす。

成果目標

①歩行空間が確保される延長を21.6km(38%)から40.5km(71%)まで向上させる。



②老朽化等により損傷した舗装路の要修繕箇所整備率を19.8%(H26)から100.0%(H30)へ向上させる。



事業内容

・道路改築事業や交通安全事業における歩行空間整備

- | | |
|------|--|
| 代表工区 | <ul style="list-style-type: none"> 弘前田舎館黒石線 猿賀工区 (現道拡幅) L=0.8km 名川階上線 剣吉踏切(現道拡幅) L=0.6km 国道103号 雲谷工区(歩道整備) L=0.4km etc. |
|------|--|

・舗装路における修繕等の舗装補修事業を実施

- | | |
|------|--|
| 代表工区 | <ul style="list-style-type: none"> 橋向五戸線 市川工区他 (舗装補修) L=1.8km 弘前柏線 柏工区 (舗装補修) L=1.8km etc. |
|------|--|

■中間評価の結果

事業実績

▶整備率による進捗

- ①歩行空間確保延長による進捗【26事業】対策済4事業、整備率40.0%
- ②舗装路の要修繕箇所による進捗【84事業】完了済48事業、整備率57.1%

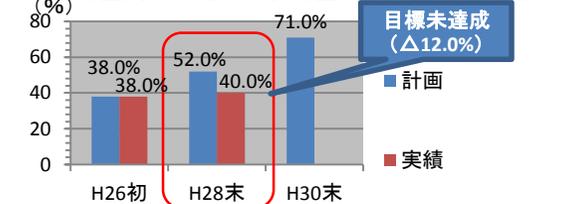
▶完成した代表事例



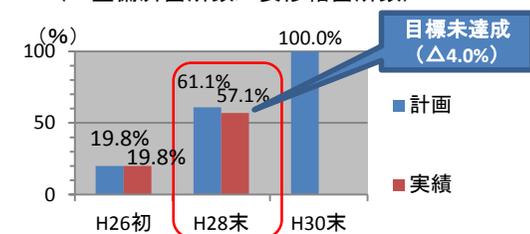
成果目標(H28末)の達成状況

①バイパス整備や歩道新設等により道路の歩行空間が確保される率%

(=歩行空間確保延長/歩行空間確保整備計画延長)



②舗装路の要修繕箇所の整備率%
(=整備済箇所数/要修繕箇所数)



■今後の方針

限られた予算で事業を実施しており、中間目標値を下回っているが、最終目標達成に向けて、引き続き事業の進捗を図る。

【社会資本整備総合交付金 中間評価結果 総括表】

H30.3

青森県 県土整備部 道路課

計画番号	計画の名称	交付団体	着手年次	完了予定年次	計画の成果目標 (定量的指標)	要素事業の進捗状況 H28時点					評価指標(中間)の実現状況					今後の方針	
						全体事業数 (※1)	評価指標母数	実施中事業数	完成済み		H26当初現況値	H28末中間評価					
									事業数	延長等		目標値	実績値	増減	増減の理由等		H30末最終目標値
4	安全で安心な暮らしを守るあおもりの道づくり(防災・安全)	青森県	H26	H30	歩行空間が確保される延長を21.6km(38%)から40.5km(71%)まで向上させる。	261	26	22	4	15.7 km	38.0%	52.0%	40.0%	-12.0%	限られた予算で事業を実施しているため。また用地取得の遅れによる。	71.0%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
					老朽化等により損傷した舗装路の要修繕箇所整備率を19.8%(H26)から100.0%(H30)へ向上させる。	261	84	36	48	117.7 km	19.8%	61.1%	57.1%	-4.0%	限られた予算で事業を実施しているため。	100.0%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
5	雪国あおもりの暮らしを支える道づくり	青森県	H26	H30	積雪時においても、道路空間が確保される延長を84%(H26)から88%(H30)まで向上させる。	67	39	20	16	18.5 km	84.0%	87.0%	86.4%	-0.6%	用地取得の遅れによる。	88.0%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
18	計画的・戦略的な維持管理を推進するあおもりの道づくり(防災・安全)	青森県	H26	H30	長寿命化修繕の対応率を41.5%(H26)から82.1%(H30)まで向上させる。	257	346橋	—	—	173橋	41.5%	61.9%	61.8%	-0.1%	鉄道関係機関との調整の結果により、実施時期を変更したことによる。	82.1%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る
19	雪国あおもりの暮らしを支える道づくり(防災・安全)	青森県	H26	H30	積雪時においても、道路空間が確保される延長を84%(H26)から88%(H30)まで向上させる。	61	39	20	16	18.5 km	84.0%	87.0%	86.4%	-0.6%	用地取得の遅れによる。	88.0%	引き続き最終目標に向けて事業進捗を図る

※1 事業数はA基幹事業+C効果促進事業+その他関連する事業の合計。